



取扱説明書

Xerxes 20 Plus

ver.1.04

はじめに

この度はROKSANレコードプレイヤー Xerxes 20 Plusをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本取扱説明書には、本機設置や操作について重要な情報が含まれています。本説明書をお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

開梱

箱から商品を取り出して、中身を確認してください。

欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

Xerxes 20 Plus インナー・プラッター	X 1	UPGRADE MAT 4mm 用 O リング	X 2
Xerxes 20 Plus アウター・プラッター	X 1	水準器	X 1
Xerxes 20 Plus ドライブベルト	X 1	六角レンチ (2.5, 3.0, 5.0mm)	X 3
ドライブベルト用パウダー小瓶	X 1	綿棒	X 1
Xerxes 20 Plus スピンドル・キャップ	X 1	布	X 1
Xerxes 20 Plus 専用オイル	X 1	木綿製手袋	X 1
Xerxes 20 Plus ダストカバー	X 1	取扱説明書 (本紙)	X 1
UPGRADE MAT 4mm	X 1	保証書	X 1

使用上の注意

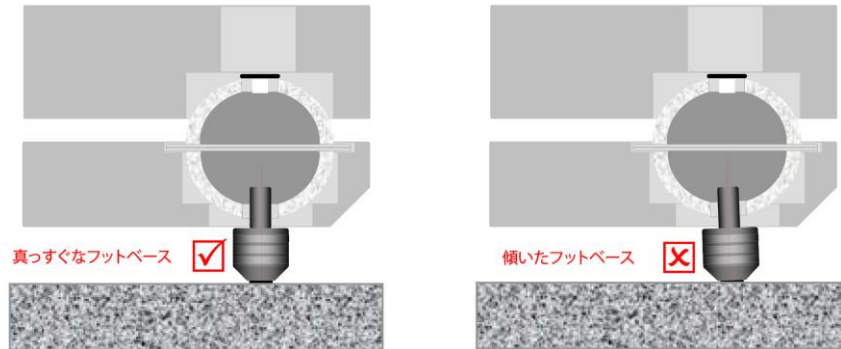
- 本体内部に水などが入らないようにしてください。キッチン、バスルームなどに置かないでください。また油煙や湯気が当たるような所やホコリの多い所に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- 極端に暑いところや寒いところ、湿度の高いところでの使用は避けてください。
- 感電の原因となりますので、濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないでください。
- 電源アダプターのコードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。結んだり巻きつけたりもしないでください。
- 表示された電源電圧で使用してください。
- 適切な機器とのみ、接続をしてください。疑問がある接続には販売店など、プロのアドバイスを得てからにしてください。
- 決して蓋を開けて分解、改造等しないでください。その場合での破損・故障等は保証の対象外となります。
- シャーシの汚れなどを取る時は、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤の入った液体・洗剤で拭かないでください。本機が変色を起こす事がありますので使用しないでください。
- 急に寒いところから暖かいところに移ると、内部で結露を起こします。このような場合、最低1時間は電源を入れずに待ち、室内温との差がなくなってから電源を入れてください。
- 長期間使用しない場合は電源アダプターをコンセントから抜き、ベルトを取り外してください。
- 本機を輸送する際は、アンチスケート・ウェイト、カウンター・ウェイトを外して本体を梱包するようにしてください。

組み立て方法

- ① Xerxes 20 Plus を水平な場所に置いてください。

注意

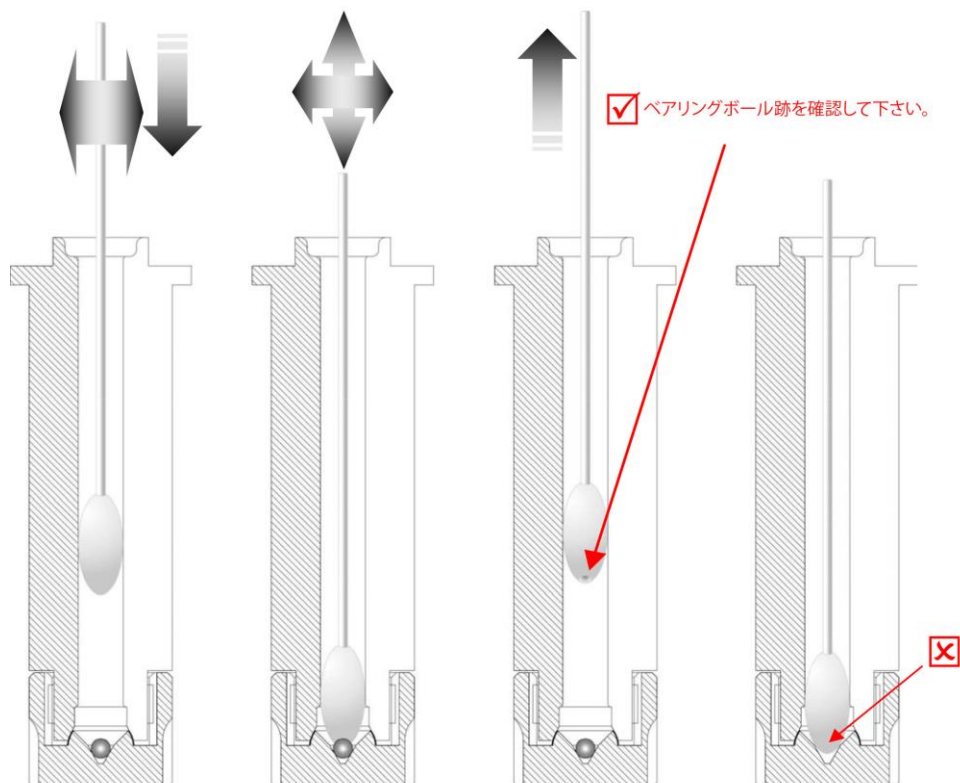
本製品のフットベースは、下記の図の通りデカップリング・ドームを採用しています。傾かず、真っすぐになっていることを確かめてください。ケーブルが引っかかったりすることのないようにしてください。



- ② インナー・プラッターを取り付けてください。

1. 綿製手袋をはめ、インナー・プラッターとスピンドル部品をプラスチックバッグから取り出してください。
2. 汚れのない柔らかいティッシュペーパーで、スピンドルについたオイルをふき取ってください。
3. メインベアリング用カバーキャップを取り外してください。取り外したカバーキャップは、オイルの入った袋の中に入れて保管してください。
4. 綿棒を使って、メインベアリングを丁寧に掃除してください。その際、綿棒の先端に小さなボールが押しつけられた跡が残るはずですが、確認してください。

※掃除中やセッティング中に、ベアリングボールが、スピンドルから抜けて無くなるように、細心の注意を払ってください。



5. メインベアリング内に付属の専用オイルを4、5滴垂らしてください。
6. インナープラッタースピンドルをメインベアリングの上へそっと置き、ゆっくり回転させながら慎重に沈ませてください。10分ないし20分ほどで、プラッターがゆっくりと沈んでいきます。プラッターを無理に下ろそうとしないでください。
7. スピンドルをおおよそ3mm程度ゆっくりと上げ下げし、インナー・プラッターが沈みきっていることを確認してください。沈みきっていれば、インナー・プラッターがベアリングボールと接触するクリック音がかすかに聞こえるはずですが。
8. 十分にオイルが滴下されていることを確認してください。オイルが充分であれば、ベアリング機体部の上にリッジ（隆起線）が見えます。リッジが見えない場合は、オイルをもう1滴垂らしてください。

注意

スピンドルを保護するために、かすかにオイルを塗ってあります。Xerxes 20 Plus を長期間そのままの状態保管する場合は、必ずオイルを塗って保管してください。スピンドルを曲げたりぶつかけたりすることのないよう、十分にご注意ください。

③ ベルトを取り付けてください。

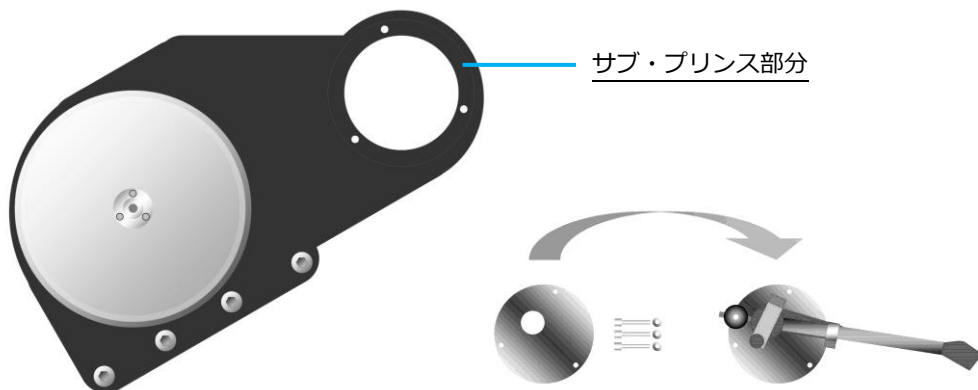
1. ドライブベルトを取り出し、インナー・プラッターとモーター・プーリーの周囲に注意深く取り付けてください。プラッターの凹みや変色を防ぐために、備え付けの綿製手袋をご使用ください。

注意

プラッターを滑り落とさないように、ご注意ください。

④ トーンアームを取り付けてください。

1. 3mm 六角レンチを使い、アームボードを取り外してください。



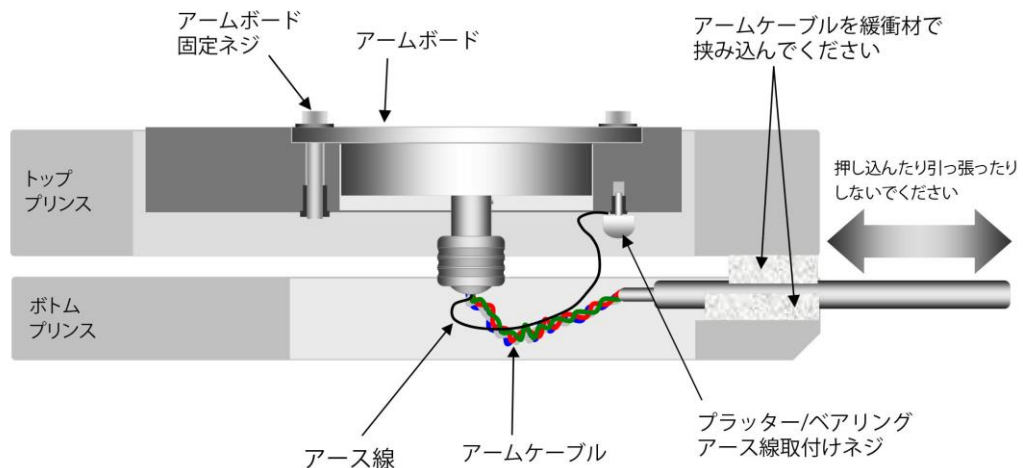
2. 製造元の取扱説明書に従い、フォノカートリッジをヘッドシェルへ注意深く取り付けてください。
3. 製造元の説明書に従って、ピックアップアームをアームボードへ注意深くのせてください。後程、調整する必要があります。アームをアームボードへ完全に固定しないでください。
4. アームボードを元の場所へ戻し、六角ボルトをしっかりと締めてください。必要な場合は、アームボードの底を支えながらボルトを締めてください。
5. ピックアップアームのコンネクタプラグを繋いでください。サブ・プリンス部分（⑤-1.図、黒い部分）が自由に動くことを確認してください。

注意

Xerxes 20 Plus のサブ・プリンスは、アームボードのカットアウトに合わせて、工場出荷時に調整されています。（例えば SARA の場合は、SARA トーンアームウェイトに合わせて調整しています）必要な場合は、お使いのトーンアームに合わせてサブ・プリンスを調整してください。

⑤ アームケーブルを接続してください。

1. 一般的なアームケーブルをご用意ください。ROKSAN 5-pin Din High Tonearm Cable のご使用をお勧めします。
2. 下記の図のように、付属の緩衝材スポンジシート（2つ）でケーブルを挟み込んでください。必要であれば結束バンドを使用し、ボトム・プリンスにケーブルを固定してください。アームボードとプリンスの間にあるアームケーブルが、自由に動く状態にあることを確認してください。
3. アームケーブルのアース線をプラッターのアース端子に接続してください。

**注意**

この緩衝材スポンジシートはアームケーブルを固定するだけでなく、ケーブルとプリンスを分断する役目も果たしています。必ずご使用ください。

⑥ アウター・プラッターを注意深く置いてください。

1. アウター・プラッターを取り出し、インナー・プラッターの上へ逆さまに重ねてください。プラッターの凹みや変色を防ぐために、備え付けの綿製手袋をご使用ください

注意

アウター・プラッターの淵にモーター・プーリーをぶつけないようにご注意ください。

⑦ 電源を入れてください。

1. 5ピンコネクタ・ターンテーブル専用電源（XPS8 or RPM）を、ターンテーブルの背面に接続してください。
2. 正しい速度でプラッターが回転することを確かめてください。

注意

本体のスイッチを入れる前に、電源が接続されていることを必ずご確認ください。

⑧ レコードマットを取り付けてください。

1. センターピースが正しい位置にあることを確かめてください。
2. 付属マットのご使用をお勧めします。付属している'O'リングをスピンドル側へゆっくと押しつけ、マットを固定してください。

⑨ スピンドル・キャップを取り付けてください。

1. ベアリングスピンドルの上へスピンドル・キャップをかぶせてください。マットの中心にレコード盤を置いてください。

2. スピンドル・キャップを取り外し、本体前左端のスピンドル・キャップ置きに置いてください。

注意

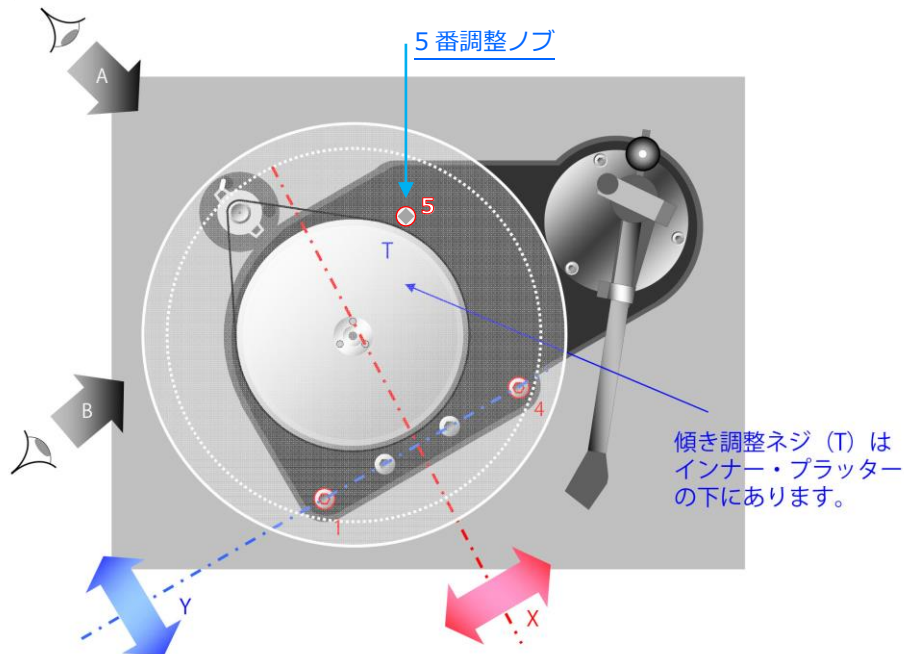
スピンドル・キャップを再度取り付ける際は、先にレコード盤を外してください。

クランプは使用しないでください。ノイズが発生する原因となります。

レコード・ウェイトは使用しないでください。メインベアリングに修復不可能な傷を与える恐れがあります。

調整方法

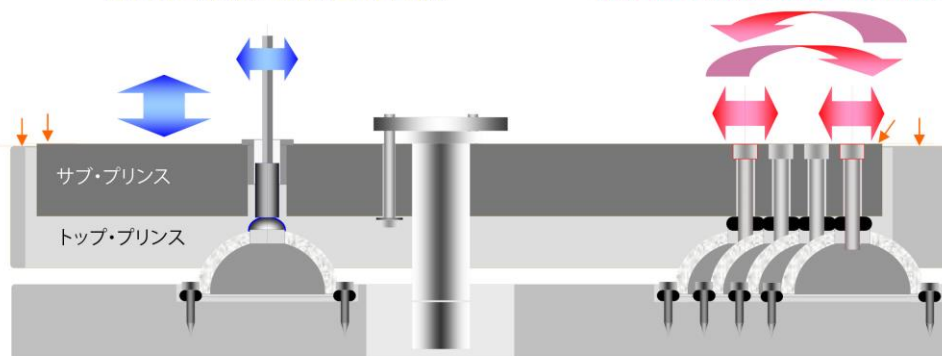
- 各パーツが正しく設置されていることを確認してください。トーンアーム、カウンター・ウェイトが正確に設置されていることを確かめてください。
- プリンスを調整してください。



- 上の図に示された1番と4番のボルトを締めたり緩めたりして、サブ・プリンスの高さを調整します。5mm六角レンチをご使用ください。図に示された X 軸を軸としてサブ・プリンスとトップ・プリンスの高さを調整してください。

Y軸を軸として傾きを調整してください。

X軸を軸として傾きを調整してください。



- サブ・プリンス、トップ・プリンスが同じ高さになっていることをご確認ください。上の図、矢印（橙色）で示した点の高さを同じにしてください。
- 必要がある場合は、インナー・プラッター下にある傾き調整ネジ(T)を、締めたり緩めたりして調整します。3mm 六角レンチをご使用ください。図に示された Y 軸を軸としてサブ・プリンスとトップ・プリンスの傾きを調整してください。ほとんどの場合は調整不要です。
- 再度 B 地点から見て、サブ・プリンス、トップ・プリンスが同じ高さになっていることをご確認ください。
- サブ・プリンスとトップ・プリンスの隙間が、一定の大きさであることを確認してください。初めにレコーダプレイヤーの正面から見て確認し、次に側面から見て確認してください。

注意

Xerxes 20 Plus のサブ・プリンスは工場出荷時、アームボードのカットアウトに合わせて調整されています。ですので、ご使用のトーンアームの重さと合わない場合があります。その場合は、サブ・プリンスの高さを再調整してください。その場合、②に示された 5 番調整ノブを使用します。5 番調整ノブは手で回す仕様となっています。

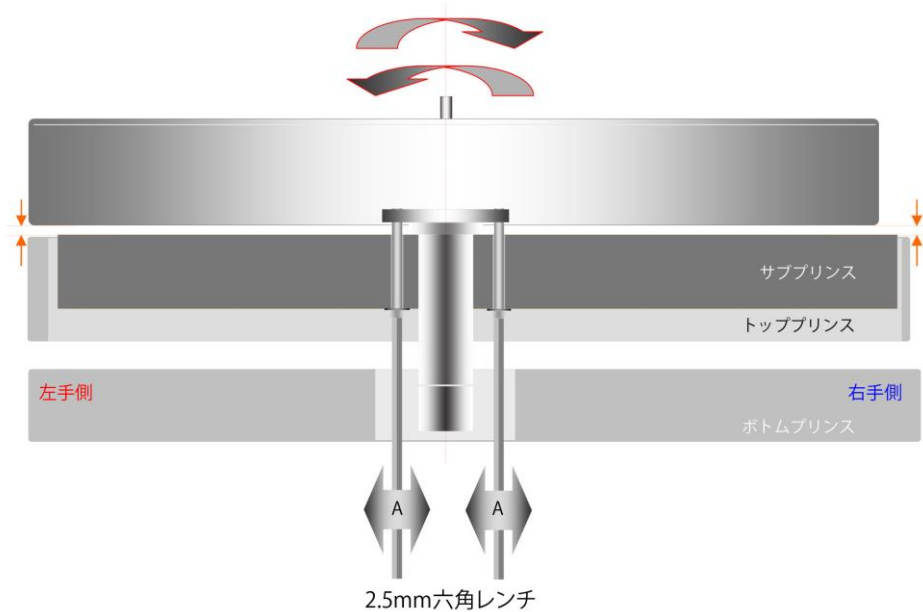
③ プラッターを調整してください。ほとんどの場合は調整不要です。

1. アウター・プラッターをインナー・プラッターに注意深く重ねてください。
2. アウター・プラッターの前後左右のバランスを確認してください。

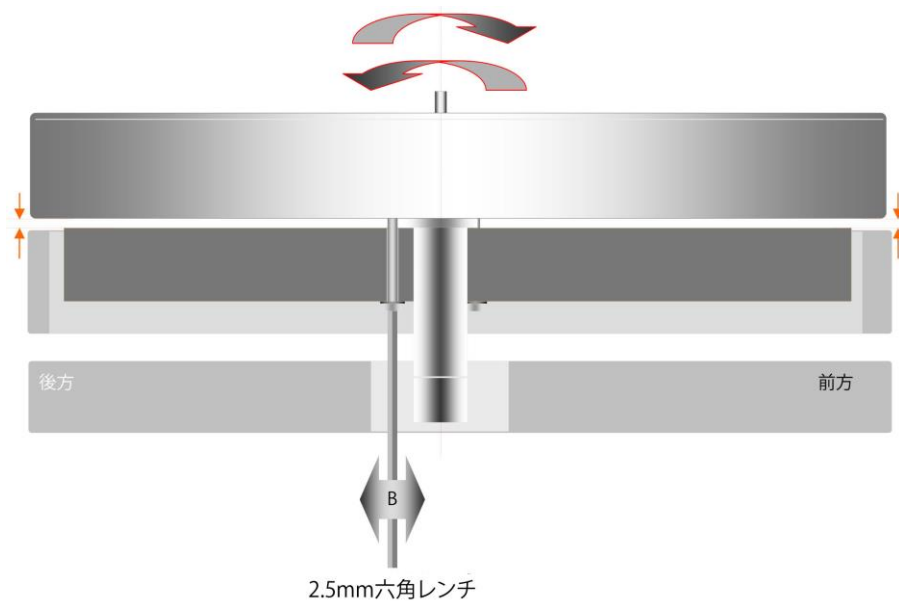
必要な場合は、3本のベアリング固定ネジを調整し、プリンスの高さを変更してください。

以下の手順に従ってください。

- ① レコードプレイヤーを側面から見た時、ベアリング固定ネジの頭部が隙間から見えないことを確認してください。
- ② まず、左右のバランスを調整します。2.5mm 六角レンチを使って、メインベアリング固定ネジを調整してください。図に示した通り、正面から見て前方にある2つのネジを締めたり緩めたりして、プリンスの左右の傾きを調整してください。



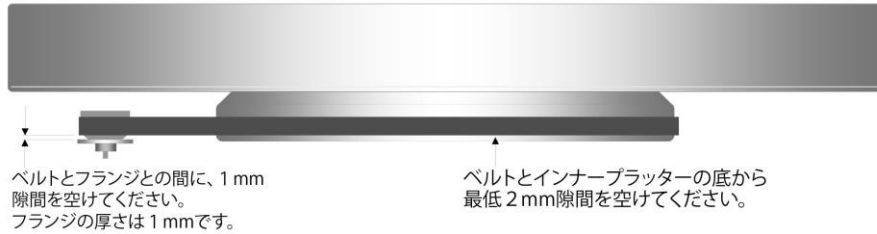
- ③ 次に、前後のバランスを調整します。2.5mm 六角レンチを使って、メインベアリング固定ネジを調整してください。後方のネジ（3つ目のネジ）を締めたり緩めたりして、プラッターの高さと前後の傾きを調整してください。



注意 ネジの端がサブ・プリンスに当たった後、1-1.5 周ネジを締めたくらいが、ちょうどよい力が加わった位置となります。ネジの締めすぎにご注意ください。ネジを調整する際は、一方をわずかに緩めたら、もう一方をわずかに締めるという手順で調整してください。

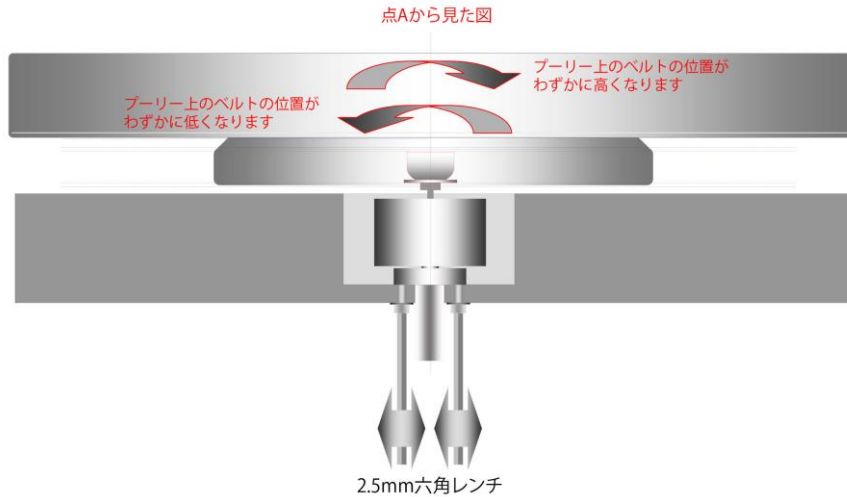
④ ベルトを調整してください。

1. 回転がスタートした際、モーター付近から「ククク」とノイズが出る場合は、付属のドライブベルト用パウダーをドライブベルトの内側に少量塗ってください。その後再度回転をスタートさせてください。
2. ベルトとフリンジ（プーリー下側のでっぱり）との間に、1mm の隙間があること確認してください。なお、フリンジの厚さは1mm です。
3. ベルトとインナー・プラッターの底との間に、2mm 以上の隙間があることを確認してください。



4. 必要に応じて、モーター・プーリーの軸を調整してください。調整する際は、2.5mm 六角レンチをご使用ください。ほとんどの場合は調整不要です。

① まず A 地点から、前方2つのネジを調整し、左右の高さを調整してください。



② 次に B 地点から、後方のネジを調整し、前後の高さの調整を行ってください。



5. ドライブベルトの位置がわずかに高い場合は、ベルトを取り外し、丁寧に伸ばしてください。数分置いた後に、ドライブベルトを取り付け、アウター・プラッターも設置してください。
6. 再度、ベルトの位置を確認してください。

注意 プーリー上のベルトの位置が高くなっている場合、回転速度はわずかに速くなります。プーリー上のベルトの位置が低くなっている場合、回転速度はわずかに遅くなります。

メンテナンス

掃除をする際は、必アンプの電源を切り、スタイラス・カバーを取り付けてください。レコードプレイヤーを掃除する際は、軽く湿らせた柔らかい布や、筆先の柔らかいブラシをお使いください。研磨剤や溶剤を使わないでください。

- 12 カ月から 18 カ月毎にメインベアリングを掃除し、ROKSAN オイルを補填してください。オイルの補填方法は、「組み立て」の「インナー・プラッターの取り付け方法」を参照してください。
- 使用頻度に応じて、6 カ月から 12 カ月毎にモーター・プーリーとインナー・プラッターを掃除してください。モーター・プーリーとインナー・プラッター周辺のベルトが接触する部分には、わずかですが、ゴムの沈着が生じます。
- 掃除をする際は、中心部品、フェルトマット、アウター・プラッターおよびドライブベルトを取り外してください。モーター・プーリーとインナー・プラッターをレコードプレイヤーの上に置いたままの状態、アルコールあるいはメタノール入り洗浄剤を使って掃除をしてください。必要以上に力を加えないでください。故障の原因となります。
- ノンアルコールワックスベースの研磨剤を使ってベルトを掃除してください。使用 5 年毎の交換、あるいは 5,000 時間毎の交換を推奨します。
- 必要であれば、濡らした布巾でダストカバーを掃除してください。
- ターンテーブルは、高品質天然木合板（または光沢塗装）を使用しています。細心の注意を払い、柔らかい布で拭いてください。落ちにくい汚れが付いてしまった場合には、固く絞った柔らかい布で水拭きをしてください。6 カ月から 8 カ月毎に、高品質木製家具用艶出し剤をほんのわずかに含ませた布で拭いてください。洗浄剤、溶剤、研磨剤は決して使わないでください。

トラブルシューティング

不具合が疑われる場合は、まずは全ての接続をご確認ください。また本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法もあわせてご確認ください。下記は、一般的な問題症状と考えられる解決策になります。下記対策後も動作に変化が見られない場合は、お買い上げいただいた販売店または株式会社ナスベックまでお問い合わせください。

症状	チェック項目
針先がレコード盤におりない。	<ul style="list-style-type: none"> ・針圧は正しく調整されているか ・アームの水平バランスはとれているか ・アームリフターを下ろしているか
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・カートリッジとヘッドシエルの接続は正しいか ・出力ケーブルが正しくアンプに接続されているか ・アンプのボリュームやチャンネルの切り替えは正しいか
「ブーン」というハムノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> ・出力ケーブルのアース線をアンプに接続したか ・出力ケーブルのプラグが確実に接続されているか
針とびを起こす。	<ul style="list-style-type: none"> ・針圧が適正針圧になっているか ・レコード盤がそったり、傷が付いていたりしないか ・針先にホコリが大量に付いていないか
アームが途中で進まない。	<ul style="list-style-type: none"> ・レコード盤に傷が付いていないか ・アームが何かに当たっていないか
ノイズが出る。音が正常でない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ターンテーブルがスピーカーに近すぎないか ・カートリッジの針が正常か
音が小さい、または大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ・カートリッジの種類（出力 MM/MC）に適したアンプの接続切り替えになっているか
回転数が上がらない。 モーター付近から「ククク」と異音がる。	<ul style="list-style-type: none"> ・付属のドライブベルト用パウダーを、ドライブベルトの内側全体に少量塗ってください

Specifications

ベアリング	ステンレススチール製ユニピボット
ベアリング支柱	アクリル
アーム・チューブ	アルミニウム合金
ヘッドシェル	アクリル
有効長	240mm
実効長	222.5mm
ヘッドシェルオフセット角	22.9°
カートリッジ重量	11 g
マウンティングホール直径	23mm
アームボード厚み	7-25mm (最大)
推奨カートリッジ質量	5-12 g
推奨針圧	1.5-3.5 g
内部ワイヤー	ROKSAN Flexible PCB
トーンアーム・ケーブル	アース線付き高遮蔽同軸ケーブル
端子	RCA 金メッキ 5 ピンプラグ

ROKSAN は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要となる購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。

詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。

修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。


※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **ROKSAN 日本輸入総代理店 株式会社ナスペック**まで



株式会社ナスペック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510
FAX : 058-268-7118
 : 0120-932-455
E-mail : support@naspecaudio.com

2022.1.20 (Ver 1.04)